



みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO!

# 本郷の輝き

横浜市立本郷小学校  
学校学年便り 2月号  
令和5年1月31日

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>



## 見方を変えることでわかること

副校長 武士 雅子

早いもので今年に入り1カ月が経ちました。どの学年も次の学年に進級する準備を始めています。時間は待ってくれないので、一日一日を一生懸命取り組んでほしいと思います。

寒い寒いと思っていましたが、暦の上では2月3日(金)に節分を迎え、4日(土)は立春を迎えます。この立春を過ぎると少しずつ春が近付いてきます。節分といえば、「鬼は～外、福は～内」のかけ声とともに、豆まきをするご家庭も多いのではないのでしょうか。このかけ声ですが、「福は～内、鬼も～内」というかけ声で行う地方があることを知りました。いわれを知りなるほどと思ったのでご紹介させていただきます。

【一般的には「鬼は外」と邪気を外に追い出すのですが、日本の鬼は邪悪なものばかりではなく、鬼神(きしん)というように鬼が神様であったり、鬼を先祖の霊して祭っていたりする場合があるからです。「鬼」という文字が入っている神社や地名、また「鬼塚」などの「鬼」が付く苗字が多い地域では、その昔、鬼を祭っていた名残で、掛け声に「鬼は内」を使うことが多くなります。】

一般的に悪いことをする存在ととらえられる「鬼」ですが、見方を変えることで「神」になることに驚きました。人との関わり方や、物事のとらえ方も同じなのかもしれません。相手の立場で考えたり、多角的な視点で見てもたりすることで、新しい見方や感じ方が生まれる可能性があります。相手のことをもっと知りたいという想いをもち、行動することで、寄り添う姿勢や優しさが生まれます。

身の回りに、自分の思いをぐっと我慢して行動する「泣いた青鬼」がいらないでしょうか?その隠された思いを受け止められる大人でありたいと思うと共に、節分を機に、自分の中にある「がみがみ叱り鬼」を退治したいなと考える2月のスタートでした。